

地域一丸となった人権教育～久谷地区の取組～

松山市 人権・共生社会推進課

1 久谷地区人権教育推進協議会について

久谷地区は松山市の南部に位置し、お遍路さんへのお接待文化が残る自然豊かな地区で、学校と地域が一体となって人権・同和教育を推進し、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決を図るため、久谷地区人権教育推進協議会を設立している。当協議会には、幼稚園・小中学校PTA・高齢クラブ連合会・女性連絡協議会・公民館等の様々な団体が加盟し、次の人権教育・啓発活動に取り組んでいる。

2 今年度の取組

(1) 人権に関する講演会

当協議会では、上川原ふれあいセンター（久谷地区にある隣保館）が中心に、毎年6月と2月に人権に関する講演会を開催している。

開催日	講師	演題	参加人数
6月26日 (木)	落語家	笑いでコミュニケーション づくり ～知らなかったではダメ～	153名
2月19日 (木)	〈講演〉 人権・共生社会推進課 指導員 〈人権劇〉 脚本・演出： セインズクリエイト代表 出演：カルスポ一座	〈講演〉 みんな違っていいんだよ ～誰もが自分らしく 生きられる社会を目指して～ 〈人権劇〉 プロムナードターン	123名

(2) 公民館での人権学習会

荏原公民館では、2月に分館長を対象に同和問題に関する講話を行い、20名が同和問題の歴史や背景などを学んだ。また、女性教育部会では、26名が高齢者の認知症に関するDVD視聴による学習会を行った。

坂本公民館では、分館長や主事、女性連絡協議会などを対象に学習会を行った。5月に講師による講話1回（参加者30名）、DVD視聴による学習会を2回（9月に参加者29名、2月に参加者15名）開催し、アサーティブネスによる人権尊重や障がいのある人に関わる人権、ジェンダー・ステレオタイプによる固定的役割分担意識の問題などについて学んだ。

(3) 学校での人権教育

荏原小学校では、9月に人権の参観授業となかよし集会を開催した。人権標語の発表や保護者有志による読み聞かせボランティア「もこもこ」が、自分らしさを大切にして生きることについての読み聞かせを行った。

坂本小学校では、6月に人権の参観授業と講演会を開催した。「一般社団法人地球の上を生きる」代表理事から、世界各国を旅した経験をもとに、様々な国や地域の風土や歴史のほか、旅先で出会った人々とのエピソードを交えて、命の尊さを学んだ。

久谷中学校では、全校生徒と保護者に人権標語を募集し、校内に展示するとともに、12月に人権の参観授業と講演会を開催した。講演のテーマは、ディスコジョッキーによる「しあわせ」であった。

3 成果と課題

久谷地区では、地域と学校が積極的に人権教育に取り組んできたことから、地域住民の人権意識が高く、多くの住民が人権学習会に参加する習慣が根付いている。

一方で、学習会等への参加者は、協議会の加盟団体から選出された住民が主体となっていて、参加者の固定化が課題となっている。

今後も、「久谷は一つ！」を合言葉に、地域一丸となった人権教育を進めていきたい。